

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年1月25日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社ベクター

コード番号 2656 URL <http://www.vector.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶並 伸博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 梶並 京子

TEL 03-5337-6711

四半期報告書提出予定日 平成25年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	1,912	△32.9	△242	—	△238	—	△434	—
24年3月期第3四半期	2,851	△7.0	58	△85.3	64	△84.1	△46	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△31.51	—
24年3月期第3四半期	△3.35	—

(注)1 当社は、平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純損失金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、24年3月期第3四半期及び25年3月期第3四半期は潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	2,595	2,057	79.2
24年3月期	3,113	2,473	79.3

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 2,054百万円 24年3月期 2,470百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,551	△29.8	△267	—	△213	—	△459	—	△33.26

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、当第3四半期を除き、通期の業績予想の開示に代えて、翌四半期(累計)の業績予想を開示しております。詳細は4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	13,927,400 株	24年3月期	13,927,400 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	127,200 株	24年3月期	127,200 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	13,800,200 株	24年3月期3Q	13,800,200 株

(注) 当社は、平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。
- ・平成25年1月29日(火).....アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	4
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間(平成24年4月1日～平成24年12月31日)のわが国経済は、東日本大震災からの復興需要の顕在化はありましたが、海外経済が減速するなかで、個人消費や輸出の減退で生産活動が低下するなど、春先以降、景気後退局面に入りました。このような環境下、前事業年度末における当社サーバーへの不正アクセス事案に伴う事後処理を進め、平成24年7月19日よりクレジットカードの取扱の再開、各種プロモーションの自粛解除など漸次正常化を図りましたが、当第3四半期累計期間の業績は、営業収益については1,912,610千円と前年同期比32.9%減と減収となりました。ただ、会計期間別の営業収益は、第1四半期(4～6月期)が前年同期比45.8%減、第2四半期(7～9月期)は前年同期比28.9%減に対して第3四半期(10～12月期)は前年同期比22.3%減と減少幅は縮小に向かいました。一方、当第3四半期累計期間の利益状況につきましては、営業収益が大幅に減少したため、人件費など固定費負担を吸収することができず、営業損失242,490千円(前年同期は営業利益58,181千円)を計上することとなり、これに伴って経常損失238,510千円(前年同期は経常利益64,098千円)となりました。また、オンラインゲーム事業のうちモバイルゲーム(従来型の携帯電話のほかスマートフォンと呼ばれる高機能携帯電話を使った交流サイトで遊べるソーシャルゲーム)に係るソフトウェアの売却・除却損に加え、減損損失並びに投資有価証券評価損など特別損失178,313千円(前年同期は特別損失118,763千円)の計上によって、税引前四半期純損失416,630千円(前年同期は税引前四半期純損失53,225千円)となりました。

この結果、法人税等を差し引いて四半期純損失434,839千円(前年同期は四半期純損失46,165千円)となりました。

当第3四半期累計期間のセグメント別販売実績については、以下のとおりであります。

オンラインゲーム事業

当社が新たな経営の柱として力を入れているオンラインゲーム事業については当第3四半期累計期間の販売金額は、1,434,998千円と前年同期比28.8%減となりました。

主力の従来型オンラインゲーム(対戦ゲームMMORPGをパソコンにダウンロードするもの)は、「晴空物語」(平成23年11月より正式サービス開始)及び「アークフロンティア」(平成24年7月より正式サービス開始)など、当第3四半期累計期間末時点で11タイトルを運営しました。

また、当社が運営する専門ポータルサイト「ブラゲタイム」上で展開するブラウザゲーム(パソコンのブラウザ上で起動するダウンロード不要のオンラインゲーム)は、「神創詩篇ミッドガルド・サーガ」(平成24年5月より正式サービス開始)及び「ディヴァイン・グリモワール」(平成24年9月より正式サービス開始)のほか「ソラノヴァ」(平成24年12月より正式サービス開始)が新たに加わり当第3四半期累計期間末時点で7タイトルを運営しました。

一方、平成21年8月より開始したモバイルゲームは、タイトルを自社開発してきましたが、競争激化による苦戦を余儀なくされ、平成24年11月をもって運営を停止し、今後は従来の自社タイトル中心にこだわらず、上記のPCを使ったゲームと同様タイトルの海外調達を視野に入れた事業展開を図ることといたしました。

ソフトウェア販売事業

ソフトウェア販売事業については、当第3四半期累計期間の販売金額は381,506千円と前年同期比47.0%減となりました。うち、プロレジ・サービスの販売金額は364,263千円と前年同期比42.1%減となるなど、ソフトウェアのダウンロード販売事業は、ウイルス対策ソフトについては依然根強い需要がありますが、消費者の有料パソコンソフトに対する需要は、減少しつつあり、期半ばのクレジットカードの取扱再開後も不振が続いております。

サイト広告販売事業

当社の「Vector」サイト上で展開するサイト広告販売事業の当第3四半期累計期間の販売金額は、ソフトウェア販売の落込みと連動するかたちで95,035千円と前年同期比15.9%減となりました。キーワード広告（リスティング広告）については当該サイト広告販売事業の6割弱を占め、当該事業を下支えしました。

その他

その他の当第3四半期累計期間の販売金額は、他社サーバー運用受託収入などによって1,070千円と前年同期比63.4%減となりました。

当第3四半期累計期間のセグメント別販売実績

(単位：千円、%)

	平成25年3月期第3四半期累計期間		
	金額	前年同期比	構成比
オンラインゲーム事業	1,434,998	△28.8	75.0
ソフトウェア販売事業	381,506	△47.0	19.9
サイト広告販売事業	95,035	△15.9	5.0
その他	1,070	△63.4	0.1
合計	1,912,610	△32.9	100.0

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期累計期間末(平成24年12月31日)における資産合計は、2,595,664千円となり、前事業年度末に比べ518,190千円減少しました。

(資産)

流動資産については2,146,135千円と前事業年度末に比べ303,728千円減少しました。うち、現金及び預金が前事業年度末に比べ234,918千円減少しましたが、これは主として営業収益(売上高)の減少に伴って多額の営業損失が発生したことによるものであります。

また、固定資産についても449,529千円と前事業年度末に比べ214,461千円減少しましたが、これは、無形固定資産(ソフトウェア)の売却・除却損及び減損処理のほか投資有価証券の評価損計上などによるものであります。

(負債)

負債については流動負債が515,857千円と前事業年度末に比べ105,209千円減少したことなどで、負債合計は538,063千円と前事業年度末に比べ102,664千円減少しました。

(純資産)

純資産については2,057,601千円と前事業年度末に比べ415,525千円減少しました。うち、株主資本は2,052,915千円と前事業年度末に比べ当四半期純損失計上金額に相当する434,839千円減少しました。

なお、負債合計の負債純資産合計に占める割合が前事業年度末の20.6%から20.7%に若干上昇し、自己資本比率は、前事業年度末の79.3%から79.2%に若干低下しました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当社は、従来、決算発表時に翌期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想を開示いたしておりましたが、当第3四半期を除き、通期の業績予想の開示に代えて、四半期決算発表時に、翌四半期累計期間の業績予想を開示させていただくことといたしました。

これは、平成24年3月に発生いたしました当社サーバーへの不正アクセス事案の業績に対する影響度合いが未だに予想しにくいことに加え、当社を取り巻く事業環境が、短期的に大きく変動する恐れが出てきており、投資家の皆様の投資判断に資するだけの信頼性の高い数値を算出することが、極めて困難になっていることによるものであります。なお、実際の業績が、開示された予想に対して大きく異なることが見込まれる場合は、速やかに業績予想の修正を開示することといたします。

また、配当につきましては、将来の事業拡大と企業体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施し、内部留保資金につきましては事業投資に有効活用していくことを基本方針としております。しかしながら、当期におきましては赤字となる見込みであり、今後の見通しを総合的に勘案いたしました結果、無配とさせていただくことといたしました。株主の皆様には深くお詫びいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。なお、当該変更による損益への影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,404,102	1,169,184
売掛金	413,570	424,365
有価証券	430,432	430,334
その他	201,757	122,250
流動資産合計	2,449,863	2,146,135
固定資産		
有形固定資産	64,498	59,972
無形固定資産		
のれん	1,562	—
ソフトウェア	390,089	262,085
その他	63,197	17,436
無形固定資産合計	454,850	279,522
投資その他の資産	144,641	110,034
固定資産合計	663,990	449,529
資産合計	3,113,854	2,595,664
負債の部		
流動負債		
買掛金	160,749	172,127
未払法人税等	4,415	1,717
賞与引当金	40,508	16,329
情報セキュリティ対策引当金	110,000	65,078
未払金	91,395	134,936
その他	213,997	125,668
流動負債合計	621,067	515,857
固定負債		
退職給付引当金	19,660	22,205
固定負債合計	19,660	22,205
負債合計	640,728	538,063
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,246	1,006,246
資本剰余金	1,395,244	1,395,244
利益剰余金	181,215	△253,624
自己株式	△94,952	△94,952
株主資本合計	2,487,755	2,052,915
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△17,051	2,051
評価・換算差額等合計	△17,051	2,051
新株予約権	2,422	2,633
純資産合計	2,473,126	2,057,601
負債純資産合計	3,113,854	2,595,664

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
営業収益	2,851,222	1,912,610
営業費用	2,793,041	2,155,100
営業利益又は営業損失(△)	58,181	△242,490
営業外収益		
受取利息	5,343	3,155
受取配当金	61	66
為替差益	2,225	103
還付加算金	—	473
その他	1,791	785
営業外収益合計	9,421	4,584
営業外費用		
解約違約金	3,505	—
株式交付費	—	605
雑損失	0	—
営業外費用合計	3,505	605
経常利益又は経常損失(△)	64,098	△238,510
特別利益		
新株予約権戻入益	—	194
投資有価証券売却益	1,440	—
特別利益合計	1,440	194
特別損失		
固定資産売却損	—	19,617
固定資産除却損	9,159	10,132
減損損失	102,106	51,400
投資有価証券評価損	—	55,230
義援金	7,497	—
解約精算金	—	15,760
前渡金償却額	—	22,000
その他	—	4,171
特別損失合計	118,763	178,313
税引前四半期純損失(△)	△53,225	△416,630
法人税、住民税及び事業税	1,717	1,717
法人税等調整額	△8,777	16,492
法人税等合計	△7,060	18,209
四半期純損失(△)	△46,165	△434,839

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他(注)	合計
	オンラインゲーム事業	ソフトウェア販売事業	サイト広告販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,014,960	720,360	112,975	2,848,296	2,926	2,851,222
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,014,960	720,360	112,975	2,848,296	2,926	2,851,222
セグメント利益又はセグメント損失(△)	18,472	63,803	69,760	152,036	△2,854	149,181

(注)その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、個人向け会員制ブログサービス、他社サーバ運用管理受託業務などを含んでおります。

2. 報告セグメントごとの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	152,036
「その他」の区分の損失(△)	△2,854
全社費用(注)	△91,000
四半期損益計算書の営業利益	58,181

(注)全社費用は主に報告セグメントに帰属しない新規事業に係る開発関連費及び管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オンラインゲーム事業」セグメントにおいて一部タイトルの終了に伴い当該ソフトウェアの減損処理を行いました。

なお、当該減損損失の計上額は、102,106千円であります。

II 当第3四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他(注)	合計
	オンラインゲーム事業	ソフトウェア販売事業	サイト広告販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,434,998	381,506	95,035	1,911,540	1,070	1,912,610
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,434,998	381,506	95,035	1,911,540	1,070	1,912,610
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△185,510	△38,307	54,839	△168,979	△25	△169,005

(注)その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、他社サーバ運用管理受託業務などを含んでおります。

2. 報告セグメントごとの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△168,979
「その他」の区分の損失(△)	△25
全社費用(注)	△73,484
四半期損益計算書の営業損失(△)	△242,490

(注)全社費用は主に報告セグメントに帰属しない新規事業に係る開発関連費及び管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オンラインゲーム事業」セグメントにおいて当社が保有する著作権並びに一部タイトルの終了に伴うソフトウェアの減損処理を行いました。

なお、当該減損損失の計上額は、51,400千円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。